

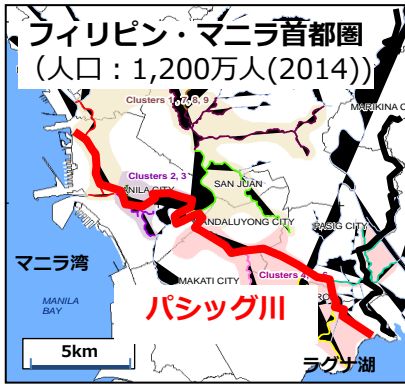
# Hiビーズ(石炭灰造粒物)を用いたパシッグ川流域水環境改善事業

## 実施機関・協力機関

**エム・アイ・コンサルティング(株)、 広島大学、** 中国電力株式会社 他  
ESTII (現地水処理会社)、パシッグ川再生委員会、フィリピン土木学会、フィリピン大学、ABS-CBN財団 他

## 実施場所

## 事業の背景



- パシッグ川流域は、近年の人口急増に対して環境インフラ整備が追い付かず、**大規模な汚水の直接流入の常態化により水環境汚染が深刻化**
- フィリピン政府はパシッグ川再生委員会を中心に過去15年以上にわたりさまざまな取組を実施してきたが、**抜本的な改善までには至っていない**

## 事業の概要

- 環境省・環境技術実証事業の承認を受けたHiビーズ(石炭灰造粒物)を活用し、フィリピン国パシッグ川再生委員会との連携によりパシッグ川流域水環境の改善を目指す(水域直接浄化)**
- F/S (H28) では、パシッグ川流域内クリークでの**水質・底質モニタリング**などを通じて、実証試験(H29)における**Hiビーズ敷設計画を策定(設置場所、設置方法の検討)**

## 導入する技術の概要

- (水質・底質改善メカニズムの確立)
- Hiビーズのヘドロ上への敷設は新しく沈降堆積する**有機泥のミネラルによる浄化を促進**
  - ミネラルによる浄化は微生物により有機物を分解、循環させ、**動植物が有機物を利用できる環境を創出**
  - 浄化による有機物の減量・分離が進むことにより、**有機泥の堆積量の低減、親水性の向上が期待される**



(出典：中国電力(株)パンフレット)

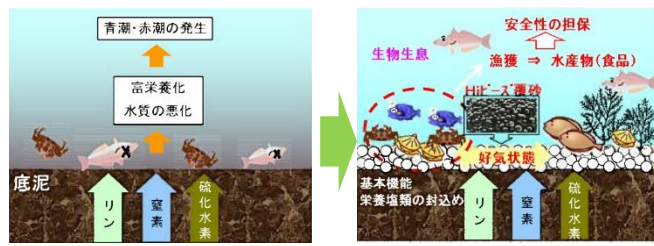


パシッグ川流域

## 期待される成果・事業化展望

- 期待される成果**：水環境改善(ヘドロ堆積抑制、異臭発生抑制、透明度改善、生態系回復)、衛生状態の改善、左記によるストレスの改善・治安の安定、環境意識の向上など
- 事業化展望**：Hiビーズの流域全体および周辺諸国への普及展開、関連技術への適用促進(水処理分野)など

### 好気性条件場の創出×生物環境の創造×水産資源の確保



(出典：中国電力(株)パンフレット)